

【報道関係者各位】

2022年3月1日

## オイシックス・ラ・大地のCVCファンドFuture Food Fund、食領域の社会課題の解決に向けてアグリテックと代替シーフード開発の2社に投資実行 ～累計投資総額約9億円、計15社へ～

食品のサブスクリプションサービスを提供するオイシックス・ラ・大地株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高島 宏平、以下「当社」）が投資子会社Future Food Fund株式会社を通じて運営するCVCファンド「Future Food Fund」（※）は、このたび、自動野菜収穫ロボットの開発・サービス提供を行うinaho株式会社（本社：神奈川県鎌倉市、代表取締役：菱木 豊、大山宗哉）および、プラントベースの代替まぐろの開発を行っているImpact Food Inc.（本社：米 国カリフォルニア州、CEO：Kelly Pan）の2社に新規投資を実行いたしました。

※正式名称「Future Food Fund 1号投資事業有限責任組合」

本投資により、Future Food Fundの累計投資総額は約9億円、投資先は15社（内、海外投資先4社）となりました。



▲inaho株式会社ロゴ



▲Impact Food Inc.ロゴ

### ■食の社会課題解決に向けて、農業の担い手不足を解決する国内企業と、代替シーフードの開発する米国企業への投資を実施

Future Food Fundでは、食のスタートアップ企業へ投資を実行することで、より多くの方がよりよい食生活を楽しめる未来をつくりたいと考えています。

今回の新規投資先2社のうち、inaho株式会社は、農業の高齢化や人手不足といった社会課題に対し、自社開発の「自動収穫ロボット」により一次産業の自動化・省力化ソリューションを提供する日本企業です。農家や農業事業を展開するLP（有限責任組合員）へのロボット導入や共同研究を促進し、収穫の効率化による持続可能な農業の実現を目指しています。

一方、Impact Food Inc.は、サステナブルでヘルシーな植物由来の海鮮類の食品開発を通じ、乱獲、海洋汚染による食料不安、たんぱく質危機などの世界中で直面している社会課題解決の実現を目指す米国企業です。近年プラントベース食品はあっという間に身近なものとなり、スーパーマーケットからファストフード店までさまざまな場所で目にする機会が増えましたが、品種の多いシーフードに関しては代替食品の開発において大きな可能性を残しているといわれています。Impact Food Inc.では、まぐろの刺身をはじめとして、美味しさも担保したイノベティブな食品開発を進めています。

### ■フードテック領域での投資活動について

当社は、2016年10月に日本初（※）となるフードテック関連への投資・提携を行う専門に行う投資部門「Food Tech Fund」を自社内に立ち上げ、これまでにアグリテック、国産農産物の海外への販路開拓など、食分野の新たな価値創造に取り組む6社への出資及び事業提携を行っています。（※当社調べ）

その後、2019年10月にCVCファンドとして設立した「Future Food Fund」では、更に取り組みを進展させ、LPとして参加する事業会社14社のプラットフォームを最大限に活用し、幅広く支援を行うことで、スタートアップの持つ新技術や新サービスをより早く実用化・事業化していくことを目指し活動を進めています。

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：横溝

TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp

（上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください）

## ■新規投資先について

### (1) inaho株式会社

住所：神奈川県鎌倉市御成町112 ヤノヤビル 2F

設立年月：2017年1月

代表者：菱木 豊 / 大山 宗哉

公式HP：<https://inaho.co/>

持続可能な農業を実現するために、AIを搭載したコネクテッドな自動野菜収穫ロボットを日本とEUで展開するスタートアップです。新しいロボット産業の発展のモデルとして「第9回ロボット大賞」農林水産大臣賞を受賞するなど、AIロボティクス技術の事業化に強みがあります。



▲inaho株式会社ロゴ



▲自動野菜収穫ロボット写真

### (2) Impact Food Inc.

住所：1007 Howard Ave, San Mateo市、カリフォルニア州、米国

設立年月：2021年2月

代表者：Kelly Pan

公式HP：<https://www.eatimpactfood.com/>

Impact Food Inc. は米国、カリフォルニア州のプラントシーフードを開発しているスタートアップです。フードサイエンスの知識を活かして代替マグロ商品の開発を皮切りに、多様な代替海鮮類の開発を行っています。サステナブルでヘルシーな植物由来の海鮮類の食品開発を通じ、乱獲、海洋汚染による食料不安、たんぱく質危機などの世界中で直面している社会課題解決の実現を目指し、SDGsへの貢献を企業理念の大事な柱の一つとしています。



▲Impact Food Inc.ロゴ



▲代替マグロ調理写真

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：横溝

TEL：050-5305-0549（直通） E-mail：publicity@oisixradaichi.co.jp

（上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください）

## ■ Future Food Fund株式会社 代表取締役 松本浩平 コメント

今回出資させていただいたinaho株式会社、Impact Food Inc. はともに、独自の技術で社会課題を解決し、持続可能な社会を実現しようと挑戦しているスタートアップです。

独自開発のロボットで収穫作業の自動化を進めるinaho株式会社とは、オイシックス・ラ・大地株式会社の取引先農家や農業事業を展開するLPへの導入を促進し、農家さんの抱える課題解決に貢献したいと考えています。プラントベースの代替シーフード商品を開発するImpact Food Inc.とは、LPネットワークを活用して輸入・販売を推進し、日本国内におけるマーケットの創出を図りたいと考えています。

このような協業や支援活動を通じて、彼らの技術がいち早く社会実装されると共に、スタートアップの持つ画期的な技術を成長させるエコシステム構築を進めていきます。



▲代表取締役 松本浩平

## オイシックス・ラ・大地株式会社について

オイシックス・ラ・大地株式会社（代表：高島宏平）は、「Oisix」「らでいっしゅぼーや」「大地を守る会」の国内主要ブランドを通じ、安心・安全に配慮した農産物、ミールキットなどの定期宅配サービスを提供しています。子会社の買い物難民向け移動スーパー「とくし丸」や、米国でヴィーガンミールキットを展開する「Purple Carrot」も含め、食のサブスクリプションサービスを広げています。

当社は、「サステナブルリテール」（持続可能型小売業）として、サブスクリプションモデルによる受注予測や、ふぞろい品の積極活用、家庭での食品廃棄が削減できるミールキットなどを通じ、畑から食卓まで、サプライチェーン全体でフードロスゼロを目指しています。

# Oisix ra daichi

## Future Food Fund株式会社について

Future Food Fund株式会社は、2019年8月に日本の食のスタートアップエコシステムを作る為に、フードイノベーション領域に特化した国内外のスタートアップ企業への出資を目的としたCVCファンドを運営する投資子会社として、オイシックス・ラ・大地株式会社により設立されました。パートナー企業とともに、国内外の先進的な食・農・ヘルスケア領域などのフードテック領域への積極的な投資と、販売や商品開発などの支援も可能としており、日本国内で、スタートアップ企業を支援するエコシステムの構築を目指しています。

(サイトURL : <https://futurefoodfund.co.jp/>)

# Future Food Fund

Future Food Fund Inc.

本リリースに関するお問い合わせ

オイシックス・ラ・大地株式会社 広報：横溝

TEL : 050-5305-0549 (直通) E-mail : [publicity@oisixradaichi.co.jp](mailto:publicity@oisixradaichi.co.jp)

(上記内容は断りなく変更される場合があります/最新情報は上記お問合せ先までご連絡ください)